



学校だより

宮古島市立北小学校
第3号
文責 呉屋 武志

「モジュール学習の導入について」

今年度より、教育課程の弾力的な編成を行い、月曜日を5校時までとする一方、火・木・金曜日の朝に「15分間のモジュール学習」を導入しています。この15分間は3回分を合算して「授業時数1時間」として算定するものです。朝のゴールデンタイムを活用し、国語の漢字練習や言語活動、音読や漢字コグトレ等といった学習に取り組んでいます（月・水曜日は読書タイムおよび朝会を実施）。

メリットとして、**①高い集中力と習熟度の向上**：「15分間」という短時間で行うため、漢字の書き取りや音読練習といった反復学習（ドリル学習）に極めて高い効果を発揮します。**②学習の習慣化とリズムの構築**：毎朝、「脳が最も活性化する時間帯」にルーティンとして取り組むことで、落ち着いて1日を始める「朝のスタートアップ」としての機能も果たします。**③授業時数の確保**：年間を通じて細かく積み上げることで、行事等で削られがちな授業時数を安定的に捻出することができる等があげられます。

デメリットは、月曜日以外の下校時間が10分繰り下がる形になったことです。しかし、この「**小さな積み重ね**」こそが学びの質を上げ、近い将来、必ず学力調査などの数字にも現れてくると確信しています。



【朝の自主活動】

朝の校内では、4～6年生が自主活動や委員会活動に汗を流し、校舎内外を清める姿が見られます。「**自分たちの手で学校をより良くする**」という高学年の主体的な背中、下級生の**素晴らしい模範**です。

この活動の波及効果により、学校全体に落ち着きが生まれ、遅刻の減少や元気なあいさつの充実へと繋がっています。本校が掲げる「**他校のモデルとなる学校**」への歩みは、



こうした子供たち一人一人の小さな貢献から始まっています。

『1年生を迎える会』

2～4年生は元気いっぱいの「**ダンス**」を披露し、5・6年生は1年生を優しくリードしながら「**ボール運び**」と「**魔法の絨毯**」を楽しみました。児童会役員も、初の司会進行を務め上げ、大役を果たしました。

最初は緊張気味だった1年生も、最後には声を上げて喜ぶほどの笑顔を見せてくれました。とても**心温まる時間**となりました。

体カテストへの挑戦

毎年恒例の体カテストが始まりました。「**1秒でも速く、1センチでも遠く、1回でも多く**」と、子供たちは**昨年の自分**を超えることを目標に、力いっぱい挑戦しています。体の成長とともに、運動能力もまた着実に伸びていくことが期待される時期です。

本校では、沖縄県の課題である体力向上に向け、体育専科教員による授業を行っています（3～6年）。専門的な指導と緻密な場づくりによって十分な**運動量**を確保し、子供たちが「**動く楽しさ**」を実感しながら、確かな体力を身に付けられるよう取り組んでいます。



前年度の自己記録更新を目指しましょう